

プログラム

11月14日（土曜日） A会場

- 10:00~11:00 座長：大矢 進(名市大)、川端健二(医薬基盤研)
(Session 1) アドバイザー：今中常雄(富山大)、唐澤 健(帝京大)、服部光治(名市大)
- 10:00 A01 Arfのグアニンヌクレオチド交換因子BIG1とBIG2のトランスゴルジ網局在化機構の解析
高島 皓平 M2 (京大院・薬・生体情報)
- 10:20 A02 血小板活性化への膜結合型カルシウム非依存性ホスホリパーゼA2(iPLA2 γ)の関与の解析
頼 幸良 M2 (昭和大・薬・衛生化学)
- 10:40 A03 生体膜脂肪酸組成変化に対する応答機構の解析
有山 博之 M1 (東大院・薬・衛生化学)
- 11:00~12:00 座長：原俊太郎(昭和大)、星野真一(名市大)
(Session 2) アドバイザー：今中常雄(富山大)、唐澤 健(帝京大)、服部光治(名市大)
- 11:00 A04 ABCD1欠損マウス脳における極長鎖脂肪酸代謝
川道 美里 M2 (富山大院・薬・分子細胞機能)
- 11:20 A05 血中におけるリゾホスファチジルコリン産生機構の解明
小野 めぐみ M2 (東北大院・薬・分子細胞生化学)
- 11:40 A06 種々の組織におけるFABPアイソフォームの定量的発現プロファイル解析
- 定量的評価に基づいたアイソフォームと組織の分類 -
山本 篤司 D1 (徳島大院・薬・生物薬品)
- 12:00~13:00 昼 食
- 13:00~14:20 座長：青木淳賢(東北大)、大熊芳明(富山大)
(Session 3) アドバイザー：有賀寛芳(北大)、関 政幸(東北大)、平嶋尚英(名市大)
- 13:00 A07 Lynの核局在によるクロマチンダイナミクスと核内チロシンリン酸化
久保田 翔 M1 (千葉大院・薬・分子細胞生物)
- 13:20 A08 Robo4遺伝子の血管内皮細胞特異的な発現とDNAメチル化との関連
舟橋 伸昭 D2 (阪大院・薬・蛋白情報解析)
- 13:40 A09 ナンセンス変異を有する異常mRNAの分解機構 (NMD) の解明
齊藤 修平 M1 (名市大院・薬・遺伝情報)
- 14:00 A10 メディエーター複合体因子Med15と基本転写因子TFIIEの機能解析
水城 史貴 博士研究員 (富山大院・薬・遺伝情報)
- 14:20~14:30 休 憩

11月14日（土曜日） A会場

- 14:30~15:50 (Session 4) 座長：土井健史(阪大)、吉成浩一(東北大)
アドバイザー：添田泰司(福岡大)、原俊太郎(昭和大)、星野真一(名市大)
- 14:30 A11 核内受容体PPAR α によるミトコンドリアの脂肪酸トランスポーターSLC25A20の
発現調節機構の解析
竹内 健太郎 M1 (阪大院・薬・蛋白情報解析)
- 14:50 A12 ラット扁桃体神経細胞におけるアンドロゲン受容体刺激によるBKチャネル発現増加
藤井 将人 M2 (名市大院・薬・細胞分子薬効解析)
- 15:10 A13 有機金属化合物およびレチノイドのRXR転写活性化における必須アミノ酸部位の検討
廣森 洋平 特任研究員 (岐阜薬大・薬・衛生学)
- 15:30 A14 核内受容体liver receptor homologue-1 (LRH-1)と相互作用する因子の解析
大野 雅恵 D3 (名市大院・薬・分子生物)
- 15:50~16:10 コーヒーブレイク
- 16:10~17:30 (Session 5) 座長：有賀寛芳(北大)、関 政幸(東北大)
アドバイザー：青木淳賢(東北大)、大熊芳明(富山大)、土井健史(阪大)
- 16:10 A15 -51 ETSサイトを介するPF4遺伝子の発現制御メカニズムの解明
登 治謙 M2 (阪大院・薬・蛋白情報解析)
- 16:30 A16 ストレス誘導性タンパク質TRB3によるTGF- β シグナルの制御
牛山 小百合 M1 (名市大院・薬・医薬品代謝)
- 16:50 A17 化学発がん過程で発現上昇するヒストンメチル化酵素CARM1がプロモーター活性制御
に及ぼす影響の解析
吉見 千明 M2 (名市大院・薬・分子生物)
- 17:10 A18 細胞死関連因子DAXXによる概日リズム制御機構の解明
内田 好海 M1 (東京医歯大・難研・発生再生生物)
- 17:30~17:40 休憩
- 17:40~18:40 (Session 6) 座長：奥 直人(静岡県大)、堅田利明(東大)
アドバイザー：新井洋由(東大)、西川淳一(武庫川女子大)、西中 徹(大阪大谷大)
- 17:40 A19 ストレス誘導性pseudokinase TRB3のT細胞分化に及ぼす影響
西仲 駿 M2 (名市大院・薬・医薬品代謝)
- 18:00 A20 Cre-loxPシステムを用いたマウス胎盤特異的遺伝子発現システムの構築
浦田 聖 B4 (岐阜薬大・薬・衛生学)
- 18:20 A21 DNAダメージ条件での核内 c-Abl によるクロマチン凝縮
青山 和正 M2 (千葉大院・薬・分子細胞生物)
- 19:00~20:30 懇親会 (実習棟1階)

11月15日（日曜日） A会場

- 9:00~10:00
(Session 7) 座長：有田 誠(東大)、篠原康雄(徳島大)
アドバイザー：板部洋之(昭和大)、久下周佐(東北大)、野田展生(北大)
- 9:00 A22 細胞質分裂時のArf6およびEFA6 (Arf6 GEF) の局在変化
上田 智子 M1 (京大院・薬・生体情報)
- 9:20 A23 RIN2のcircular ruffle形成の分子機構における役割の解明
池田 誠一 M1 (東大院・薬・生理化学)
- 9:40 A24 分裂期での Src 型チロシンキナーゼを介したシグナリングの機能解析
松井 優紀 M1 (千葉大院・薬・分子細胞生物)
- 10:00~11:00
(Session 8) 座長：関水と久(東大)、中山和久(京大)
アドバイザー：板部洋之(昭和大)、久下周佐(東北大)、野田展生(北大)
- 10:00 A25 Src型キナーゼLynの高次構造変化に依存した細胞内トラフィックの制御機構：
キナーゼドメインC-lobe領域結合蛋白質の役割
小幡 裕希 D4 (千葉大院・薬・分子細胞生物)
- 10:20 A26 イノシトールリン脂質における特異的脂肪酸組成の生物学的意義の解明
中崎 康子 M1 (東大院・薬・衛生化学)
- 10:40 A27 線虫 *C. elegans* を用いたTOR 経路に関わる新規因子の探索と解析
春日 秀文 M2 (東大院・薬・生理化学)
- 11:00~11:30 軽 食
- 11:30~12:30
(Session 9) 座長：今中常雄(富山大)、添田泰司(福岡大)
アドバイザー：荒牧弘範(第一薬科大)、杉本幸彦(熊大)、林 秀敏(名市大)
- 11:30 A28 メンブレントラフィックにおけるArfaptinの機能解析
満 智秋 D1 (京大院・薬・生体情報)
- 11:50 A29 松果体細胞で発生するCa²⁺オシレーションのBKチャネルによる制御
村松 真 M2 (名市大院・薬・細胞分子薬効解析)
- 12:10 A30 ヒト単球由来白血病細胞株に対する *Vitex agnus-castus* の細胞増殖抑制作用と
細胞内ROS量との相関性
菊地 秀与 D3 (東京薬大・薬・臨床ゲノム生化学)
- 12:30~12:40 休 憩
- 12:40~14:00
(Session 10) 座長：板部洋之(昭和大)、林 秀敏(名市大)
アドバイザー：有田 誠(東大)、鍛冶利幸(北陸大)、篠原康雄(徳島大)
- 12:40 A31 動脈硬化症予防を目指した新規バイオプローブの開発：
悪玉コレステロール生成酵素阻害に基づくアプローチ
竹田 修三 講師 (第一薬科大・薬・分子生物)
- 13:00 A32 米ケフィラン給餌によるウサギの動脈硬化形成の抑制効果
内田 雅士 D1 (千葉大・薬・病院薬学)
- 13:20 A33 TIRF顕微鏡によるBK-VDCCチャネル分子複合体の可視化解析
鈴木 良明 M2 (名市大院・薬・細胞分子薬効解析)
- 13:40 A34 心不全モデルラットにおけるQuercetinの抗酸化効果
嶋崎 裕子 M2 (新潟薬科大・薬・臨床薬理学)

11月14日（土曜日） B会場

- 10:00~11:00 座長：田中正彦(名市大)、中川晋作(阪大)
(Session 11) アドバイザー：石井伊都子(千葉大)、山村壽男(名市大)、山本千夏(北陸大)
- 10:00 B01 抗体プロテオミクス技術による乳がん関連蛋白質の同定と機能評価
山下 琢矢 D1 (阪大院・薬・毒性学)
- 10:20 B02 滑膜新生血管を標的とした関節リウマチワクチン療法の開発
澤口 能一 D3 (帝京大・薬・生物薬剤)
- 10:40 B03 BBB破綻に基づく脳虚血再灌流障害へのリポソームDDS技術の応用
石井 貴之 M2 (静岡県大・薬・医薬生命化学)
- 11:00~12:00 座長：宇都口直樹(帝京大)、堤 康央(阪大)
(Session 12) アドバイザー：石井伊都子(千葉大)、山村壽男(名市大)、山本千夏(北陸大)
- 11:00 B04 Antibody-drug conjugateの開発に適う細胞内侵入抗体の効率的探索法
吉川 舞 D1 (阪大院・薬・薬剤学)
- 11:20 B05 創薬支援のための薬剤性光線過敏症リスク評価に関する薬剤科学的研究 (7)
ー光毒性リスク評価における皮膚移行性評価の有用性についてー
世戸 孝樹 D1 (静岡県大・薬・薬物動態学)
- 11:40 B06 生分解性マイクロニードルを応用した経皮ワクチンの開発
松尾 一彦 D2 (阪大院・薬・薬剤学)
- 12:00~13:00 昼 食
- 13:00~14:20 座長：服部光治(名市大)、平山 順(東京医歯大)
(Session 13) アドバイザー：中山和久(京大)、仁科博史(東京医歯大)、山口雅史(広島国際大)
- 13:00 B07 初期胚形成不全メダカ変異体*sakura*の解析
大野 真見 M1 (東京医歯大・難研・発生再生生物)
- 13:20 B08 未分化ヒトES細胞から中内胚葉へのラミニンによる分化促進効果
稲村 充 D2 (阪大院・薬・分子生物)
- 13:40 B09 多能性幹細胞からのセロトニン神経分化におけるnogginの誘導機構
篠原 季久子 M2 (阪大院・薬・神経薬理)
- 14:00 B10 脳形成に必須な分泌蛋白質の、リーリンN末端領域の機能解明
五味 宏樹 M1 (名市大院・薬・病態生化)
- 14:20~14:30 休 憩

11月14日（土曜日） B会場

- 14:30~15:50 座長：田辺由幸(岩手医大)、仁科博史(東京医歯大)
(Session 14) アドバイザー：田中正彦(名市大)、中山祐治(千葉大)、平山 順(東京医歯大)
- 14:30 B11 ATX-LPAシグナルのS1Pシグナル抑制機構
中永 景太 M1 (東北大院・薬・分子細胞生化学)
- 14:50 B12 脂肪細胞分化に重要であるfad104の肺発生における役割
岸本 圭史 D1 (名市大院・薬・分子生物)
- 15:10 B13 神経細胞層構造の形成と維持における、リーリンC末端領域の機能
阪野 英幸 M2 (名市大院・薬・病態生化)
- 15:30 B14 DOIによるPACAPヘテロ欠損マウスの精神行動異常の表出
植月 一樹 M2 (阪大院・薬・神経薬理)
- 15:50~16:10 コーヒーブレイク
- 16:10~17:30 座長：小嶋仲夫(名城大)、中西 剛(岐阜薬大)
(Session 15) アドバイザー：宇都口直樹(帝京大)、寺田知行(大阪大谷大)、吉成浩一(東北大)
- 16:10 B15 エストロゲン応答性レポーターTGマウスを用いた2,3,7,8-TCDDの
エストロゲンシグナルに対する影響評価
北村 翔 M1 (岐阜薬大・薬・衛生学)
- 16:30 B16 3-メチルコランズレンによるCYP1A1の誘導とDNA付加体生成に対するニカルジピンの
増強効果
保坂 卓臣 D2 (静岡県大・薬・衛生分子毒性)
- 16:50 B17 鉄による核酸損傷における脳内神経伝達物質の関与と疾患への影響
西野 義彦 M2 (名城大・薬・衛生化学)
- 17:10 B18 安全確保に向けた非晶質ナノシリカの生殖発生毒性に関する検討
山下 浩平 M2 (阪大院・薬・毒性, 医薬基盤研)
- 17:30~17:40 休 憩
- 17:40~18:40 座長：荒牧弘範(第一薬科大)、瀧井猛将(名市大)
(Session 16) アドバイザー：小嶋仲夫(名城大)、田中智之(岡山大)、田辺由幸(岩手医大)
- 17:40 B19 2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-p-dioxinによるMCF-7細胞増殖抑制機構の解明
吉岡 弘毅 M1 (岐阜薬大・薬・衛生学)
- 18:00 B20 多剤耐性結核菌に有効な新規糖化合物の探索
堀田 康弘 D2 (名市大院・薬・生体防御)
- 18:20 B21 外耳道から得られたブドウ球菌の薬剤耐性と耐性遺伝子のトランスファーに関する研究
椎葉 有樹 M2 (摂南大・薬・微生物)
- 19:00~20:30 懇 親 会 (実習棟1階)

11月15日（日曜日） B会場

- 9:00~10:00 座長：田中智之(岡山大)、寺田知行(大阪大谷大)
(Session 17) アドバイザー：大塚文徳(帝京大)、月本光俊(東理大)、中西 剛(岐阜薬大)
- 9:00 B22 プロスタグランジン最終合成酵素欠損によるプロスタノイド産生バランスの変化
佐々木 由香 D1 (昭和大・薬・衛生化学)
- 9:20 B23 急性炎症反応におけるPGE₂-EP3受容体とPGI₂-IP受容体シグナルの役割
森本 和志 M2 (京大院・薬・生体情報)
- 9:40 B24 ω3系脂肪酸の抗炎症作用に関する包括的メタボローム解析
佐々木 崇晴 M1 (東大院・薬・衛生化学)
- 10:00~11:00 座長：鍛冶利幸(北陸大)、杉本幸彦(熊大)
(Session 18) アドバイザー：大塚文徳(帝京大)、月本光俊(東理大)、中西 剛(岐阜薬大)
- 10:00 B25 アディポネクチンによるマスト細胞活性化の抑制
辻屋 朝美 M2 (武庫川女大・薬・免疫生物)
- 10:20 B26 マスト細胞の開口放出におけるアクティブゾーンタンパク質の関与
野村 英宏 D2 (名市大院・薬・生体超分子)
- 10:40 B27 感染症とI型アレルギーモデルマウスにおける肝代謝機能の解析
森家 望 助手 (兵庫医療大・薬・薬物動態)
- 11:00~11:30 軽食
- 11:30~12:30 座長：久下周佐(東北大)、西川淳一(武庫川女子大)
(Session 19) アドバイザー：川端健二(医薬基盤研)、瀧井猛将(名市大)、中川晋作(阪大)
- 11:30 B28 即時型アレルギーにおけるメタロチオネインの役割
小林 亮 嘱託職員 (岐阜薬大・薬・衛生学)
- 11:50 B29 IgEを介したマスト細胞活性化におけるJNKの機能
栗宗 由樹 M2 (武庫川女大・薬・免疫生物)
- 12:10 B30 新規分子標的の探索と新規モノクローナル抗体の作製
大野 喜也 助教 (兵庫医療大・薬・生体防御)
- 12:30~12:40 休憩
- 12:40~14:00 座長：大塚文徳(帝京大)、平嶋尚英(名市大)、
(Session 20) アドバイザー：大矢 進(名市大)、関水久(東大)、堤 康央(阪大)
- 12:40 B31 T細胞活性化過程におけるプリン受容体の関与の検討
月本 光俊 助教 (東理大・薬・放射線生命科学)
- 13:00 B32 タンデムFc型改変抗体によるケモカインとサイトカインの産生誘導
元井 崇太郎 M2 (東理大・薬・創薬ゲノム)
- 13:20 B33 アデノウイルスベクターによる自然免疫誘導メカニズムの解明
山口 朋子 D3 (阪大院・薬・分子生物)
- 13:40 B34 インフルエンザ経鼻ワクチンのためのサイトカインアジュバントの開発
有田 修平 M1 (阪大院・薬・毒性, 医薬基盤研)